

## 第 16 回中野市ごみ減量化委員会顛末

日時：平成 20 年 2 月 14 日（木）

午後 6 時から

場所：市民会館 47 号会議室

出席者：寺島進委員、松野富子委員、小林眞一委員  
小田切裕治委員、稲葉武治委員  
小林東山クリーンセンター工場長  
伊藤環境課長、出川課長補佐、佐野衛生係長、山崎市民環境係長  
宮澤主査、池田主任主事、小林主事

### 1 開会

出川課長補佐（進行）

### 2 あいさつ

伊藤課長

### 3 会議事項

#### (1) ごみの排出量の状況について

- ・ごみの排出量の推移について（資料 P 2）佐野係長から説明  
概要：可燃ごみ前年同月比 25%以上の減となっている。
- ・堆肥化機器助成金について（資料 P 3）宮澤主査から説明  
概要：9 月以降申請件数が多くなっている。
- ・プラスチック製容器包装の分別状況について池田主任主事から説明  
概要：不適合物であるプラスチック製品のほか、金属やビン、紙類も含まれていた。
- ・リサイクル認定者について宮澤主査から説明  
概要：科野小学校 P T A、永田小学校 P T A、新鮮屋オタギリの 3 者が認定。

#### 質疑

委員：10 月以降のごみの量の推移は市役所内に掲示するとなっていたが、どうか。

佐野係長：年末まで市役所入口に掲示した。

委員：プラの不分別はかなりひどいのか。私の周りではほとんど無いが。

佐野係長：一部の不適合物が手選別の段階で発見されているということであり、全体としては良好であると考えている。

委員：故意にやっているのか。

佐野係長：そういう部分もあるとは思いますが、分別が分からなくてということもあると考えている。

委員：牧の入はプラの収集日に5袋程度しか出ないため、可燃ごみの収集と合わせて行ったらどうか。

佐野係長：搬入先が違うためすぐにそうするわけには行かないが検討します。

委員：堆肥化機器の助成金はいつまで行うのか。

佐野係長：H4年度から行っているものであるが、当面廃止の予定はない。

委員：一人何個でも助成対象となるのか。

佐野係長：対象となります。

## (2) 今後の取り組みについて

・指定法人ルートでのプラスチック製容器包装のリサイクルについて（資料P5、6）佐野係長から説明

概要：指定法人ルートの場合、年1回検査があり、不適合物が多いとDランクとなってしまいます。その際は改善報告書を提出のうえ再度検査を受け、再びDランクとなった場合、中野市のプラスチック製容器包装は指定法人ルートで引き取りしてもらえなくなってしまう。

・今後の取り組みについて（資料P7、8）池田主任主事から説明

概要：古着古布の分別、資源物の日曜回収、意識向上のPRを行い、ごみの減量化を推進していきたい。

## 質疑

委員：市民が主体となって行うことが大事である。私の店でも店頭回収でペットボトルを集めているが、他店購入分も出されていると思う。しかし地域への恩返しと思い行っている。区や商店街といった学校以外の団体でも、回収するという事はできないのか。

伊藤課長：現在も学校以外の団体の回収に対して助成している。他店購入分の店頭回収と同様に、サンデーリサイクルについても、他市町村の方が

持ち込むということも考えられるが、環境意識向上のためにも行っていきたい。

委員：月1回の資源物回収の際は地区役員も大変苦勞しているので、その分散にもサンデーリサイクルは効果が期待できると思う。これに限らず、市民への周知が大切である。

伊藤課長：10月以降、紙類の量が増えてきている。さらに分別を周知し、減量化していきたい。

委員：フェスティバルは実行委員会を作ってやるのか、環境課でやるのか。

伊藤課長：実行委員会で行いたい。庁内においても環境課以外の課にも声をかけていきたい。

委員：東山クリーンセンターで生ごみの割合が増えたことにより燃焼効率が落ち、プラスチック製容器包装として収集したものをそこに加えて燃やしているとのうわさがある。

容リ協の検査の件については市民のほとんどが知らないので積極的に周知してほしい。

中野市のごみが減れば中野市の分担金が減るとのことであったが、実際のうちの金額になるのか。

小林工場長：プラスチック製容器包装として収集されたものが東山クリーンセンターに持ち込まれていることは無い。

分担金については、2年後の分担金に反映される。本年度減った分は平成21年度分に反映されるということである。額については現時点ではなんともいえないが減ることは確かである。

佐野係長：容リ協の検査については今後周知していきたい。ペットボトル、びん、白色発砲トレイについては、すでに北衛を通じて容リ協のルートでリサイクルしており、検査結果は良好である。

委員：山ノ内町が有料化されていないことで市民に不公平感があるので、市の分担金がどのくらい減るということをアピールしてほしい。他町のことはあるが、山ノ内町も早めに有料化するとういと思う。

伊藤課長：10月以前も市町それぞれの制度で行ってきており、現在もそれぞれの制度となっているが、山ノ内町も有料化について検討はしているようである。

環境フェスティバルも利用して積極的にアピールしていきたい。

小林工場長：旧指定袋の使用については、予定通り今年9月までということか。

佐野係長：今年9月までである。

委員：プラスチック製品のリサイクルについてはどうか。

佐野係長：容リ協の指定ルートでは、プラスチック製の容器包装のみでプラスチック製品はルートが無いのが現状である。

(3)その他

- ・伊藤課長から3年間のご協力への御礼

4 その他

- ・特に無し。

5 閉会（午後7時15分）

出川補佐